

基礎ゼミナール(基礎ゼミナールI)

基礎ゼミナール(基礎ゼミナールI)

2単位(必修)1年(前期)

山内 暁彦・准教授/人間文化学科

【授業目的】オペラという「うさんくさい芸術(?)」のあり方から、芸術と娯楽、音楽の受け取られ方の時代や世相による変化を学ぶ。

【授業概要】17世紀になり突然誕生したオペラのあり方、その時代と場所による変遷をたどる。芸術と娯楽の境目に常にあり続けた「オペラというものの姿」を見つめようと考えている

【キーワード】バロックオペラ、モーツァルトと前衛、19世紀の音楽と娯楽、ワーグナー以後

【先行科目】[先行科目]

【関連科目】[関連科目]

【履修上の注意】ジャンルに関係なく「音楽」というものに多大な興味と好奇心を持っていることが不可欠である。「自分はJ-POPしか聴かない」という人も歓迎。なお、教科書は全員必ず購入すること。

【到達目標】

1. 音楽、芸術、娯楽、エンターテインメントと言った言葉の意味を、自分なりにキチンと定義づけられるようになること。
2. 本講義では、国際感覚の醸成を養成することを目的としています。

【授業計画】

1. 講義の趣旨説明と講義全体の概要説明
2. バロックオペラ(ギリシャ悲劇の復活だって?)
3. バロックオペラ(華やかな浪費の産物)
4. バロックオペラを見る、聴く
5. オペラセリアとオペラブッフア(真面目とおふざけ)
6. モーツァルトへの道とモーツァルトの前衛(決して優雅じゃない)
7. モーツァルトのオペラを見る、聴く
8. フランス革命直後のオペラ、そしてロッシーニ(時代に振り回されるオペラ産業)
9. 19世紀パリのグランドオペラ(現在の娯楽の原点がここにある!)
10. ロッシーニとグランドオペラを見る、聴く
11. ワグナー(娯楽からもっとも高貴な芸術の祭典へ)
12. ワグナー以後(みんな苦労した)
13. 20世紀のオペラ(もう娯楽ではない)
14. そして「演出」の時代へ(これっていったい???)
15. 総括授業

16. 期末レポートの提出

【成績評価】期末レポート(50%)と毎回の授業中に取り組み課題(50%)

【再試験】再評価はしない。

【教科書】『オペラの運命(十九世紀を魅了した「一夜の夢」)』岡田暁生 中公新書 1585 ISBN4-12-101585-1

【参考書】授業の時に指示する

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218500>

【連絡先】

⇒ 山内(3308, 088-656-7132, yamauchi@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL

【備考】前期、金曜日3~4講時

基礎ゼミナール(基礎ゼミナールI)

2 units (compulsory) 1st-year(1st semester)

Akihiko Yamauchi · ASSOCIATE PROFESSOR / DEPARTMENT OF HUMAN SCIENCES

Target) オペラという「うさんくさい芸術(?)」のあり方から、芸術と娯楽、音楽の受け取られ方の時代や世相による変化を学ぶ。

Outline) 17世紀になり突然誕生したオペラのあり方、その時代と場所による変遷をたどる。芸術と娯楽の境目に常にあり続けた「オペラというものの姿」を見つめようと考えている

Keyword) バロックオペラ、モーツァルトと前衛、19世紀の音楽と娯楽、ワーグナー以後

Fundamental Lecture) [先行科目]

Relational Lecture) [関連科目]

Notice) ジャンルに関係なく「音楽」というものに多大な興味と好奇心を持っていることが不可欠である。「自分はJ-POPしか聴かない」という人も歓迎。なお、教科書は全員必ず購入すること。

Goal)

1. 音楽、芸術、娯楽、エンターテインメントと言った言葉の意味を、自分なりにキチンと定義づけられるようになること。
2. 本講義では、国際感覚の醸成を養成することを目的としています。

Schedule)

1. 講義の趣旨説明と講義全体の概要説明
2. バロックオペラ(ギリシャ悲劇の復活だって?)
3. バロックオペラ(華やかな浪費の産物)
4. バロックオペラを見る、聴く
5. オペラセリアとオペラブッフア(真面目とおふざけ)
6. モーツァルトへの道とモーツァルトの前衛(決して優雅じゃない)
7. モーツァルトのオペラを見る、聴く
8. フランス革命直後のオペラ、そしてロッシーニ(時代に振り回されるオペラ産業)
9. 19世紀パリのグランドオペラ(現在の娯楽の原点がここにある!)
10. ロッシーニとグランドオペラを見る、聴く
11. ワーグナー(娯楽からもっとも高貴な芸術の祭典へ)
12. ワーグナー以後(みんな苦労した)
13. 20世紀のオペラ(もう娯楽ではない)
14. そして「演出」の時代へ(これっていったい???)
15. 総括授業

16. 期末レポートの提出

Evaluation Criteria) 期末レポート(50%)と毎回の授業中に取り組む課題(50%)

Re-evaluation) 再評価はしない。

Textbook) 『オペラの運命(十九世紀を魅了した「一夜の夢」)』岡田暁生 中公新書 1585 ISBN4-12-101585-1

Reference) 授業の時に指示する

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218500>

Contact)

⇒ Yamauchi (3308, +81-88-656-7132, yamauchi@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL

Note) 前期、金曜日 3~4 講時